

センシング技術応用研究会第229回研究例会・(一社)次世代センサ協議会合同研究例会
【 バイオものづくり 】

ご案内

今回の研究会はセンシング技術応用研究会と(一社)次世代センサ協議会と共催で行います。
会場参加をご希望の方は11月5日(火)まで、オンライン参加をご希望の方は11月11日(月)までに事務局までお申し込みください。
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

日時 令和6年11月12日(火) 13:25～16:00

会場 ■大阪産業創造館 5階 研修室D

(大阪市中央区本町1-4-5) 地図 <https://www.sansokan.jp/map/>

※オンライン併用開催

■オンライン開催

参加者には事前にWeb招待メールをお送りいたします。また、資料も事前にURLからダウンロードして頂きます。

※なお、配信の録画および資料の転送は固くお断りいたします。

参加費 会員無料 / 非会員¥10,000

主催 センシング技術応用研究会

共催 (一社)次世代センサ協議会

《プログラム》

開会挨拶

(13:25～13:30)

センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏

<講演>

(13:30～14:35)

1. 「産業のバイオ化を加速！大阪工大バイオものづくりラボ」

常翔学園 大阪工業大学 工学部 生命工学科 教授 長森 英二 氏

“産業のバイオ化”に期待が集まる中、新規参入企業等が生産プロセスを短期間に開発できるよう支援す

る体制が必要です。大阪工業大学バイオものづくりラボでは、培養最適化やスケールアップに要する開発期間を大幅に短縮するための自動化やDX技術の開発・実装、産業人材の教育に取り組んでいます。

— 休憩 —

(14:35～14:50)

<講演>

(14:50～15:55)

2. 「バイオファウンドリ事業におけるCFDを用いたスケールアップ手法の開発」

Green Earth Institute 株式会社 バイオファウンドリ研究所

上席研究員 東海林 了 氏

バイオリファイナリーの実用化を進める為、微生物生産のスケールアップ技術開発を進めています。本研究では商業サイズの培養環境をCFD解析で予想し、それを再現したスケールダウンモデルにおいて生産性を確認することで短期間かつ低コストでスケールアップを進めることを想定しています。

閉会挨拶

(15:55～16:00)

(一社)次世代センサ協議会 会長 小林 彬 氏